



しんちゃくとしよあんない

新着図書案内

2023.読書週間直前号

松阪商業高校図書館

秋です。ゆっくり本を読むのにいい季節になってきました。

10/27~11/9は「読書週間」(標語「私のペースでしおりは進む」)です。

読書週間キャンペーン

読書週間中の開館日に本を借りた人に、「読者の権利10か条」のしおりをプレゼントします。

図書館で、あなただけの一冊を見つけてみませんか?

しんちゃくとしよ 新着図書から

※本の表紙の画像は国立国会図書館サーチ書影APIより

大ピンチずかん



「大ピンチずかん」
鈴木のりたけ著、小学館、2023

日常にある「大ピンチ!」と感ずるできごとを、大きさと段階のなり易さであげている絵本。「牛乳をこぼしてしまった!」とか「バッグの中で水筒がもれた!」など、共感できて、笑えます。



「恋のありがち」
青春 bot 著、スターツ出版、2023

「友達のちょっと気になる人の話を聞いていると大体ちょっとどころではない。」(裏表紙より)など、揺れ動く感情をイラストとともに紹介する、恋する人のあるある本です。

リクエスト受付中です!



「知りたいこと図鑑」
みっけ著、KADOKAWA、2023

教養雑学を項目ごとにまとめて、デザインに落としこんだ図鑑です。スキマ時間にめくってみたら、いろいろなジャンルの物知りさんになれるそうです。クイズが好きな人にもおすすめです。



「生きものがつくる美しい家」
鈴木まもる文・絵、エクスタレッジ、2023

産まれてすぐに歩き始めることのできない生きものたちは、巣を作ります。この本では、生きものが新しい生命を産み、育むために、誰にも教わらず本能の力で作る巣を紹介しています。どの巣もよくできています。



「いまを読み解く45の分析」
日本経済新聞社編、日経BP/日本経済新聞社、2023

Q&A形式で、日本経済のニュースの疑問に、日経記者が答えます。各項目5ページの読み切りスタイルで、知りたいところから、どこからでも読むことができます。巻末に用語索引がついているのも便利。



「大谷翔平語録」
齋藤庸裕著、宝島社、2023

大谷選手のメジャーリーグでの軌跡を、彼の「肉声」を中心に記録した本。取材のなかで印象的だった言葉をテーマごとにまとめている本書を読めば、前向きに楽しく生きるヒントを得られるかもしれせん。



「「バイアス社会」を生き延びる」
中野信子著、小学館、2023

基本戦略は「逃げるが勝ち」? 誰かの思考の偏りや思い込み=バイアスがかけられている情報があふれる「バイアス社会」。そんな社会を生き延びる方法を、脳科学の見地から語った一冊です。



「続 窓ぎわのトットちゃん」
黒柳徹子著、講談社、2023

ユニセフ親善大使を務める、「徹子の部屋」の司会者の黒柳徹子さんが、42年前に執筆した『窓ぎわのトットちゃん』の続編です。前作の『窓ぎわのトットちゃん』も図書室にあります。(英語版もあります。)読んでいない人はぜひこちらから!



えいご か ほん たな
英語で書かれた本の棚を、テーマごとに整理

げんご たな
しました!(8言語の棚、ラベル 837.7)